

# 令和2年度第6回乙訓地区小中学校使用教科用図書採択協議会 概要

日時：令和2年7月29日（水）  
午後4時から5時30分まで  
場所：長岡京市立図書館 大会議室

## 1 開会・挨拶

山本会長（長岡京市教育委員会教育長）

## 2 出席者

### (1) 協議会委員

○ 山本和紀	会長	○ 永野憲男	副会長	○ 白幡節子	委員
○ 松本克彦	委員	○ 中野緑	委員	○ 福澤秀夫	委員
○ 京樂真帆子	委員	○ 大下和徹	委員	○ 盛永俊弘	委員
○ 榎本和彦	委員	○ 並川康子	委員	○ 岡弘子	委員
○ 馬場信行	委員	○ 尾瀬さち子	委員	○ 竹林広司	委員

以上、15名

欠席者 中條郁 副会長、流石智子 委員

### (2) 各市町教育委員会等事務局

長岡京市 4名 大柳次長兼学校教育課長、渡辺主幹兼学校教育係長、神谷主査、塩貝主事

向日市 2名 松石主席課長兼学校教育課長、森上主査

大山崎町 2名 上田学校教育課長、堀井参与

オブザーバー 京都府乙訓教育局 林企画教育課長

## 3 議題 教科用図書の選定

### ① 国語

#### 【国語】

- 光村図書については、本の紹介がテーマごとになっているところが分かりやすく、生徒にとっても興味が湧きやすく受け入れやすいのではないかと。
- 光村図書は、生徒の視点が入っていて見通しをもって学びやすく工夫されている。
- 光村図書は、学校生活や社会生活、将来についてなど実生活に生かせる場面を例示しており、あらゆる学習の基礎となる国語力の育成を意識して指導し、学習することができる点が優れている。
- 光村図書は、1年巻頭に小学校の復習内容を、3年資料編に高等学校の発展内容を掲載しており、小学校や高等学校との連携という点で評価できる。

### 【書写】

- 毛筆手本のページには、原寸大の手本に加え、学習のポイントとなる筆遣いや穂先の通り道などが朱墨で示されており、そのページだけで学習のポイントが分かる点が優れている。
- 現代の新しい書体である「UD書体」やグラフィックデザイナーについての紹介があり、時代と文字文化の関係について学ぶことができる。
- 光村図書は、振り返って確認できる工夫がみられる。

## ② 社会

### 【地理】

- 帝国書院は、深圳（中国）の発展の比較に関する資料で、非常に的を得た写真を掲載していたり、インドのICT産業の発展に関連してカースト制度の影響を受けにくい職業という背景に触れた資料が掲載されているなど資料が良質で、学習内容との連携が図られている。
- 地図との連携を考慮すると同一の発行者の教科書が適しているのではないか。
- 帝国書院は、地図やグラフが大変見やすく、各資料と学習内容との連携が良い。
- 帝国書院は、地図帳の使い方だけでなく、地図を用いて調べる課題も用意されており、生徒がより主体的に学べる工夫がある点が評価できる。
- 帝国書院は、巻頭にSDGsに関する世界の事例を大きく紹介し、地理的分野を通して、中学校3年間を通した大きなテーマである「持続可能な社会の実現」を印象付ける効果をもたらしている。

### 【地図】

- 帝国書院はA4判で大きく、地図や資料が見やすい。
- 資料の豊富さよりも地図としてシンプルで見やすい方が活用できるとの研究員の意見を踏まえると、帝国書院が評価できる。
- 地図そのものが充実している点で帝国書院が優れている。生徒が卒業後も地図だけで楽しめる点もよい。

### 【歴史】

- 東京書籍は、差別された人々の歴史が分かりやすく表記されている点が評価できる。また、教科書の下に年表の記載があり、今どの時代を学習しているかが明確である点が優れている。
- 東京書籍は、使い勝手の良いスタンダードな教科書である。従来型教育にとっては便利な一方、帝国書院は生徒の考える力を伸ばすという意味において評価できる。
- 中学1年生では地理と歴史を学習し、3年生で歴史と公民に移ることになるが、地理と歴史が同じ発行者である方が学習でタイアップしやすいことから、特に若手の先生にはメリットがあるのではないか。
- 帝国書院は、時代ごとのイメージを持ちやすく、苦手とする生徒でも取り組みやすい工夫がされている点で評価できる。

- 東京書籍と帝国書院については使いやすい教科書と感じる。地図のイメージが強い帝国書院であるが歴史にも注力されているところが見受けられる。研究員の使いやすいとの報告を重視したい。
- 東京書籍と帝国書院は甲乙つけ難く、横並びの印象であるが、東京書籍は現在小学校で使用されているため、小中学校の一貫性という面で評価できる。
- 小学校では社会として地理、歴史を学んでいるため、小中学校の一貫性から同じ発行者にするという考えならば地理も同様に考える必要があるかと思うが、地理と歴史が同じ発行者である方が先生方にとって使いやすいように感じる。
- 新学習指導要領の主体的・対話的で深い学びにおいては振り返りが大切と考えるが、帝国書院では、節の最後に振り返って課題に取り組むとともに大切にしたい視点も明示している点や考える力を伸ばすという点について評価できる。
- 科目間や世代間の連続性という面を含めて、研究員の指導しやすさを重視したい。
- 地理と歴史は一括りにしやすいが、歴史は20年程前から近現代史を中心に学習する形となっており、近現代史については公民とのリンクもある。
- 個人的には東京書籍が好ましいと考えるが、科目の関連性を考慮して、地理と歴史だけでなく、公民も同じ発行者の方がいいのかとも思う。
- 個人的には東京書籍と帝国書院についての差は感じなかったが、歴史を苦手とする生徒にとって学びやすいという研究報告を踏まえると帝国書院が良いと思う。
- 研究員の報告で、東京書籍は丁寧な導入でステップを踏んだ学びがなされているという発言があり、生徒にとって学びやすいという点が評価できる。
- 歴史を苦手とする生徒にとって取り組みやすいという点は評価できる。
- 帝国書院の教科書は軽いため、生徒にとって一つのメリットである。
- 帝国書院は「確認しよう!」「プラス!」など前向きに促すようなフレーズが多く用いられている点が優れている。
- 地理と歴史については2年間並行学習をすることになるため、同じ発行者の方が使い勝手が良いと考えるが、歴史と公民については並行学習がないことから、異なるとしても違和感はない。
- 新学習指導要領が全面実施される節目に当たり、研究員の意見を踏まえて、深い学びで考える力を伸ばす観点から教科書を変えることには意義がある。
- 東京書籍は確立されていて使い勝手も良く、良い意味で無難である。
- 学習指導要領の変わり目でもあり、「教科書を学ぶ」のか「教科書で学ぶ」のかという点も考慮したい。

## 【公民】

- 帝国書院は、節ごとに課題を持って取り組める工夫があり、単元の導入から、課題の設定、まとめまでの流れが一貫しており、生徒にとっても学びやすく、指導者側も扱いやすい構成である点が評価できる。
- 東京書籍は、小学校で習った言葉の整理、導入の活動、見通しを持たせるためのまとめの活動の予告など丁寧に設定されている点が工夫されている。
- 帝国書院は、大きなイラストを活用し、身近な事例を結び付けて概観することが

できる問題を設定するなど、単元全体を見通す説明が配置されている。

- 帝国書院は、資料を活用するための視点が多く設定されており、生徒が直面する課題に目を向けて資料をどう見るかを考える促しにつながっている。
- 東京書籍は、市長になって条例を作るなど、現代の社会的事象を多面的に考察するための工夫がされている。

### ③ 数学

- 問題の量と質が重要であるが、啓林館は、問題の基礎・応用・発展がバランス良く盛り込まれている点が評価できる。
- 啓林館は、各単元の内容について丁寧に説明されている。数学的知識を養う意味でも優れている。
- 啓林館は、巻末の「自分から学ぼう編」は、まとめ・発展・生活との関連の3部構成で、生徒の興味関心を引き出す工夫が見られる。また、問題数が豊富で復習など生徒が自主的に取り組みやすい。
- 啓林館は、小学校でも同じ発行者の教科書を使用しており、生徒が使い慣れている点が評価できる。
- 啓林館は、各章にQRコードに対応するシミュレーション等のデジタルコンテンツがバランス良く掲載され、学習理解がより深まる工夫がされている。

### ④ 理科

- 啓林館は、QRコードが各単元に記載されており、直接コンテンツにリンクして動画やフラッシュカードにより重要語句の確認ができる。図・アニメーション・音声等による多彩で、自社にリンクするため教科書に沿っていて扱いやすい。
- 観察や実験の課題について生徒に解決方法を考えさせる場面が設定されており、思考力・判断力・表現力の育成できるという点が工夫されている。
- 紙面がAB判となり、写真や図がダイナミックにレイアウトされているが、教科書自体がやや重い印象である。

### ⑤ 音楽

#### 【一般】

- 教育芸術社は、音楽の楽しさだけでなく著作権の問題についてもイラストを用いて分かりやすく記載されており、生徒が理解しやすい。
- 教育芸術社は小学校でも使用中のため教材に重複がない点が良い。
- 教育芸術社はポイントを絞って聴いたり考えたりしながら進める学習において授業展開がしやすく、乙訓地域の音楽の授業展開に適している。
- 教育芸術社はポピュラー音楽をうまく紹介しており、良い曲が多く取り上げられている。
- 教育芸術社は震災復興支援や人権教育などを取り上げている点で、現代の情勢に適っているという点で評価できる。

### 【器楽合奏】

- 教育芸術社はソプラノリコーダーとアルトリコーダーを関連させた楽譜を扱い、アンサンブルセミナーで各教材の目標を示し活動を支援するための具体的な手立てを吹き出しで記載している点が優れている。
- 小学校でも教育芸術社の教科書が使用されており、教材に重複がない点が良い。

### ⑥ 美術

- 光村図書は、鑑賞と表現を明確に区分し、作品への解説を適度に加え、生徒が見通しを持って自由に発想できる点が優れている。
- 光村図書は、制作の進め方についての解説が適度であり、生徒の創造性を引き出しながら、見通しを持って取り組みやすい点が評価できる。
- 光村図書は、著名な作家の作品や生徒作品などをバランス良く配置し、直接書き込んだり、実際の作品に近い紙質のページを用意するなど、生徒の創作意欲が高まるような工夫が見られる。

### ⑦ 保健体育

- 東京書籍は、「見つける」「課題の解決」「活用する」「広げる」の4ステップの流れで学習を進めることにより、生徒が段階的に基本的な知識を習得できるように工夫している点が評価できる。
- 東京書籍は、各学習のまとめりに発問を設けることで、生徒が主体的に学習内容を確認でき、指導者も教科書に沿って授業が進めやすい点が評価できる。
- 東京書籍は、オリジナルのデジタルコンテンツを配置し、動画やシミュレーションを活用することで学習がより深められる工夫がされている。
- 東京書籍は、AEDの実習において基礎知識や実習手順について図や写真を交えて丁寧に解説し、生徒が理解しやすい配慮がなされている。
- 東京書籍は、要点が簡潔にまとめられ、学習内容に沿って資料が配置されているため、指導者及び生徒にとって使いやすい点が優れている。

### ⑧ 技術・家庭

#### 【技術分野】

- 東京書籍は、学習指導要領（1）～（3）の構成が各第1章～第3章と対応しており、学びの流れがつかみやすい。
- 東京書籍は、各学習の導入部分に技術の発達例が多く掲載されており、生徒の興味を引き付けやすい点が優れている。
- 東京書籍は、各編に問題解決例が掲載されており、その内容が充実している。

#### 【家庭分野】

- 東京書籍は、掲載内容の順序が「衣食住の生活」から始まっている点で、生徒の興味関心を高める工夫が見られる。
- 東京書籍は、問題解決のための道筋が統一的に示され実践例も多いため、生徒自

身が問題解決へ見通しを持って取り組める。また、「私のオリジナル」として個々が工夫しやすい例を取り上げ、創造性を引き出せるよう構成されている。

- 東京書籍は、調理実習の題材リストが52例と最も多く掲載されていて実践しやすい。
- 東京書籍は、巻末に防災・減災手帳があり、学習を通して災害への備えができるよう工夫されている。

#### ⑨ 英語

- 小学校での学習に積み重ねるという意味では、小学校と同じ教育出版が安全かもしれないが、発行者が変わることに先生方が違和感を持たれないのであれば問題はない。
- 三省堂は従来よりも内容が詰め込みでなくなったことで易しくなった印象であり、余裕をもって学習ができるのではないか。
- 話す技法の基礎となる文法事項について中学校でしっかりと学ぶ必要があると考えるが、どの教科書の文法事項についても弱いと感じる。
- 東京書籍はサイズが大きく重い。
- 啓林館と開隆堂は難易度がやや低いと感じる。
- 光村図書は1年生に発音記号がない点が気になる。
- 小学校の教科書選定の際に、小中学校で同一の教科書にした方がいいという意見もあったが、小中学校ではそれぞれ教え方や体得させたい力が異なるということで教育出版に決まったと記憶している。現場の先生方が教えやすいとの報告もあったことから三省堂が良いと思う。
- 光村図書は、実生活に生かせるコミュニケーション表現が豊富な点が優れている。
- 三省堂は文法配列が指導者にとって自然で教えやすい点が評価できる。
- 小中学校の接続面も大切だが、中学校では次のステップとして高校受験があることから、一定の難易度のある文章に触れる必要がある。乙訓地域の生徒の学力に合っているという点も重視すべきであり、三省堂がよいと思う。

#### ⑩ 道徳

- 日本文教出版は、「いじめ」について教材やコラムをユニットでまとめ、各学年の年間学習において複数回配置され、いじめ防止につながる構成がなされている点が評価できる。
- 日本文教出版は、現代社会が抱える諸問題について多様なテーマを取り上げている点が優れている。
- 日本文教出版の別冊「道徳ノート」は教材ごとにページが設定され、生徒が学習を積み重ねたり、振り返りもができる構成となっている点が優れている。また、発問を自由に設定できるよう改訂されている点も良い。

協議の結果、全会一致で、以下の中学校教科用図書を選定した。

- ・国語：光村図書出版株式会社
- ・書写：光村図書出版株式会社
- ・社会（地理的分野）：株式会社帝国書院
- ・社会（歴史的分野）：株式会社帝国書院
- ・社会（公民的分野）：株式会社帝国書院
- ・社会（地図）：株式会社帝国書院
- ・数学：株式会社 新興出版社啓林館
- ・理科：株式会社 新興出版社啓林館
- ・音楽（一般）：株式会社教育芸術社
- ・音楽（器楽合奏）：株式会社教育芸術社
- ・美術：光村図書出版株式会社
- ・保健体育：東京書籍株式会社
- ・技術・家庭（技術分野）：東京書籍株式会社
- ・技術・家庭（家庭分野）：東京書籍株式会社
- ・英語：株式会社三省堂
- ・道徳：日本文教出版株式会社